

DX-Eさが

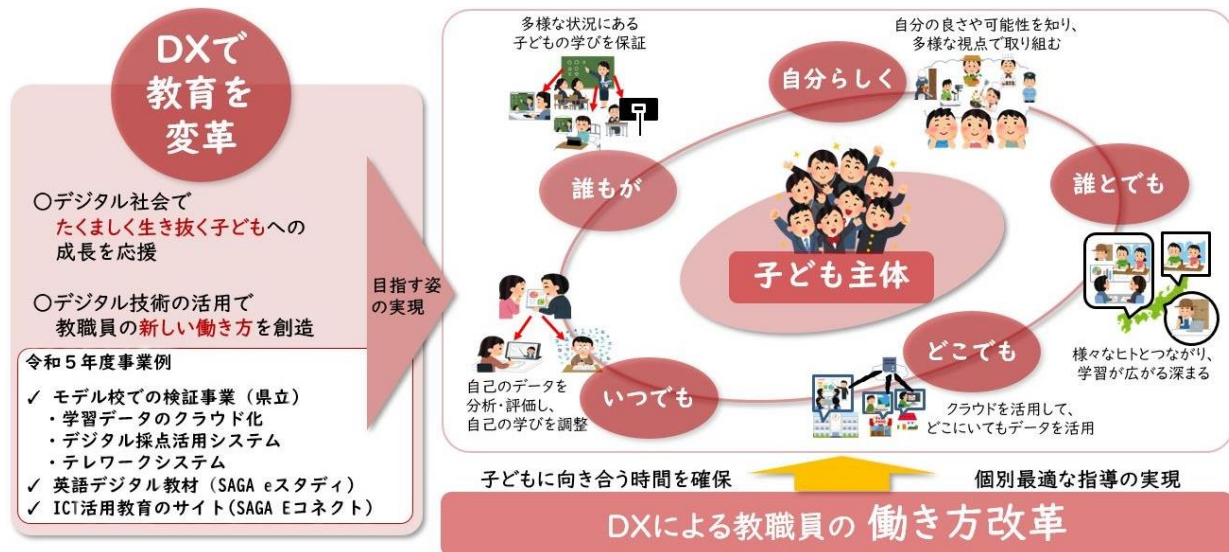
Vol.1
2023.4.11

DXとは、デジタルトランスフォーメーションの略で、「デジタル革新」や「デジタル変換」という意味の言葉です。

教育DX推進グループ始動！

令和5年4月1日より、佐賀県教育委員会に教育DX推進グループが発足しました！教育DXとは、最新のデジタルテクノロジーを活用することで、教育の手法や手段、教職員の業務などを変革させることをいいます。現在の児童・生徒たちは、デジタルネイティブ世代であるため、学習方法や学ぶべき内容についても変革が必要不可欠となってきています。

佐賀県では教育DXを進め「誰もが いつでも どこでも 誰とでも 自分らしく 学ぶことができる子ども主体の学び」を実現してするために、様々な取り組みを行っていきます。



教育DXには1人1台端末の活用が不可欠

端末を効果的に活用したいけど、どう使ったら・・・とお悩みではないですか？今回は、授業場面ごとの活用方法をいくつか紹介します。授業づくりの参考にしてください。

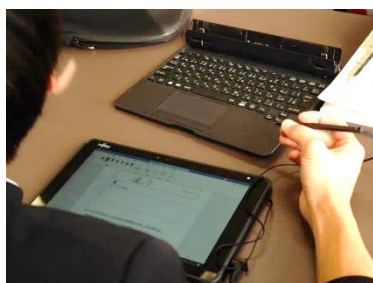
自分で調べる場面での活用

・インターネット検索で瞬時に詳しい情報を調べることができます。必要な情報を選ぶ力が必要となります。英語デジタル教科書で発音を調べられることも、この場面での活用にあたります。

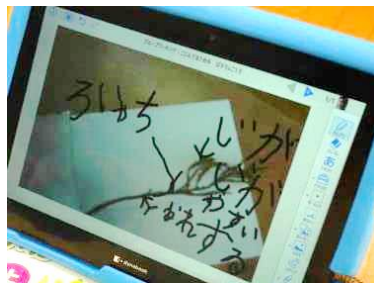


自分の考えをまとめ発表・表現する場面での活用

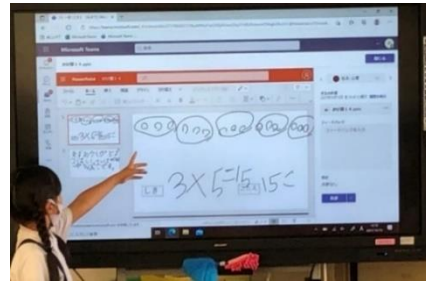
・プレゼンテーションソフト、文書ソフト、ホワイトボードソフト、メモ機能などを使うことで、自分の考えをまとめ、簡単に保存することができます。写真に気づきを書き込み、グループ内で発表（紹介）することも、この場面での活用にあたります。



ワークシートに自分の考えを直接書き込む。
【描画機能】



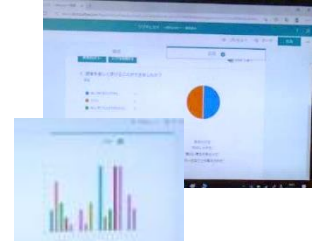
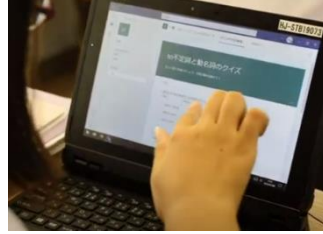
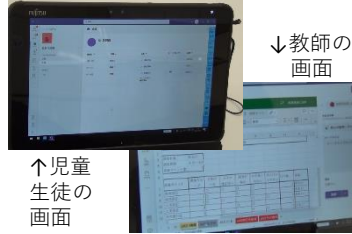
画像に自分の考えを書き込んだり、色や記号を加えたりする。
【書き込み機能】



記入した自分の考えを電子黒板に表示し、全体で共有する。【表示機能】

教職員と児童・生徒がやりとりする場面での活用

・課題の提出、資料の配布、アンケートなどが簡単にできます。教師の画面を児童生徒に見せたり、児童生徒の画面を教師に見せることもやり取りする場面での活用にあたります。



自分の考えを教師に確認する。
【文書機能等】

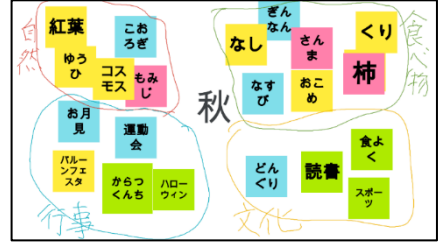
資料のやり取りや課題の提出をする。
【Teams,ClassRoom等】

小テストや、学習意欲や理解度などの振り返りをする。
【アンケート機能】

集計結果をすぐに確認し、次時の導入時にも再度確認する。
【アンケート機能】

児童・生徒同士がやりとりする場面での活用

・グループやペアでの話し合いの場面で、撮った写真や資料をすぐに出すことで相手の理解を深めることができます。また、考えを整理、分類することにも有効です。ネットワークがないところでも、一つの資料として端末を見せ合うことで活発な話し合いへつなげることができます。



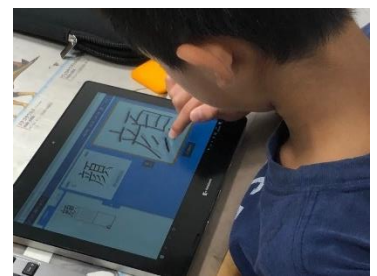
カメラで撮った動画を見てグループ内で気づきを出し合う。
【カメラ機能】

自分の考えについて端末を使って示しながら、互いに説明し合う。

グループ内の多様な考えを整理したり、分類したりする。
【ホワイトボード機能】

家庭での活用

・オンライン授業やドリルソフトの活用だけでなく、授業中にとった写真や動画を確認して、気づきをまとめたり、家庭での音読を録音して学校で提出したりとオフラインでの活用も進んでいます。毎日の連絡ノートや週の時間割をデジタル化している学校もあります。



記録した動きをお家の人に見せる。
【カメラ機能、スライド機能】

手本になる動画を見て練習し、技能を高める。
【動画再生機能】

デジタルドリルで基礎的な知識の定着。
【ドリルソフト】

「SAGA Eコネクト」ではたくさんの事例を紹介しています。 → <https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>
「先生たちの広場」 ID:teacher PW:sagaE2connect (2/1~4/30)

